

※注意：このシートは横浜市の
ホームページ等で公開されます。

まちづくりコーディネーター 登録シート（閲覧用）②

支援専門分野に関する支援の実績等	支援専門分野の内容・支援可能なテーマ	地区名	時期	支援内容等 ※ 支援の成果も含め、できるだけ具体的にお書きください。 (200文字以内かつ9行以内)
	地域まちづくりプラン策定を目指した地域課題の整理	中区・長者町789丁目 (大岡川右岸活性化を考える会)	2018年2月～ 2022年3月	大岡川沿いの歩道にある駐車帯を撤去し、歩道を拡幅することで、街のイベント利用や平時の安全で落ち着いた歩道空間を生み出したい、という街の意向を、より明確かつ具体的にすることで実現へと繋げるサポートを行なった。 既存駐車帯があることでゴミのポイ捨てや、悪質なキャッチなど、治安の維持が喫緊の課題としてあったため、定期的なゴミ拾い活動と、県警と連携した声かけ活動等を並行して進めながら、街の活性化イメージを追究した。
	住宅街の地域拠点整備 (よこはま市民街普請事業)	神奈川区・松見町3丁目	2022年7月～ 2023年1月	起伏の激しい土地に広がる閑静な住宅街である松見町3丁目の、子育て支援と高齢者見守りを中心とした地域活動拠点「てんこもりのわ」を、既存の古民家を改修することで整備するにあたり、まち普請事業コンテストへの応募を支援した。 応募提案はコンテストの結果採択され、整備された。
	防災まちづくり	神奈川区・松見町3丁目	2024年12月～ 現在	上記の「てんこもりのわ」と神奈川消防、神奈川大学との三者連携による、神奈川区松見町3丁目の防災まちづくりの取り組みを進めている。 三者の専門性を活かし、具体的には、まち歩きによる危険箇所の把握と街中の避難経路の確認等を行い、それをマップに落とし込み、防災ツールとした。それに基づいて各種の防災の取り組みへとつなげている。
	まちづくり組織の運営と実践、 地域公共交通	中区・関内関外地区	2012年4月～ 現在	関内関外地区のまちづくり団体「NPO 法人HamaBridge 濱橋会」の副理事長を務め、地域の活性化のためのまちづくり活動を実施。毎年「よこはま運河チャレンジ」の開催、2024年からは各都市交通事業者とともに「関内関外都市交通ネットワーク」を立ち上げ、地区内の回遊性の向上に取り組むなどしている。

自身の考えるコーディネーターの役割とまちづくりのポイント（500文字以内）

地域社会は今、多様な背景や価値観を持つ人を前提として再構築する必要が生じています。そしてその街ならではの理想的な地域社会は、そのような多様性を包摂した先にある、と私は考えております。私は、その多様性が活かされるよう、街が前進するためのお手伝いをするのがコーディネーターの役割だと考えます。

まちづくりにおいて重要なことは、「主体性」と「アイデア」です。主体的に関わる人がいて初めて、まちづくりはスタートラインに立つことができます。そしてメンバー同士が議論を尽くして導き出されたアイデアは、その集まったメンバーの力を発揮します。多様な主体が“自分ごと”として参加し、議論が活発化するところに、目指すべきまちづくりがあると思っています。

自分が住む街の魅力を知り、護り、育てながら、安心して快適に生活できる場を住民自らの力で創り出す、そのお手伝いができればと考えています。誰もがその地域の一員であると誇れるような地域社会を目指したいと思います。

必要に応じて資料を A4 判 1 ページまで添付できます。